



CAFÉ

Artists at the Café:
From the Impressionists, Van Gogh and
Toulouse-Lautrec to Picasso

“カフェ”に集う芸術家

— 印象派からゴッホ、ロートレック、ピカソまで

2026.6.13^{〔土〕} — 9.23^{〔水・祝〕}

触発する“カフェ”。行き交う創造。

19世紀後半のパリ、マネや後に印象派と呼ばれる芸術家たちはカフェに集い、議論を戦わせました。現代のカフェがくつろぎの場だとすれば、当時のカフェやキャバレー、ダンスホールは、飲食や娯楽を楽しむだけでなく、人々が交流し、新たな芸術が生まれる場所となっています。それは、サロン(官展)からの脱却と共に、芸術が群衆に溶け込む新しい時代の始まりでもありました。

1897年、カタルーニャ出身の画家カザスはモンマルトルの有名店「シャ・ノワール(黒猫)」に倣って、バルセロナに「クアトラ・ガツ(四匹の猫)」を開店。若きピカソも通います。そして、ピカソは“カフェ”を舞台にロートレックやカザスが描いた娯楽や孤独に多大な影響を受けて、「青の時代」へと向かいます。

本展では、印象派、ゴッホ、ロートレック、ピカソによる名作の数々、そしてバルセロナが誇る至宝・カザス作《マドレーヌ》を加えた約130点から、“カフェ”で生まれた芸術の広がりを見られます。

In Paris during the second half of the 19th century, Manet and the artists who would later be called Impressionists gathered in cafés, where they held debates. While cafés of the present day may be places for relaxation, cafés, cabarets and dance halls at that time were not just for enjoying eating, drinking and entertainment; they became places where new art was born. It was also the start of a new era, together with the breakaway from the Salon (official exhibition), of art permeating the wider public. In 1897, the Catalan artist Ramon Casas opened a café in Barcelona called “Els Quatre Gats (Four Cats),” in emulation of the famous “Le Chat Noir (Black Cat)” in Montmartre. Among others, the young Picasso was a frequent guest. Picasso was also strongly influenced by the pleasure and solitude depicted by Toulouse-Lautrec and Casas with “café” as the platform, and motivated into his “Blue Period.” This exhibition displays the spread of art born in “cafés,” through around 130 artworks including the masterpieces by Impressionists, Van Gogh, Toulouse-Lautrec and Picasso, as well as Casas’ Madeleine, the treasure of Barcelona.

- 1 **見逃ごされていた19世紀フランス美術最大のテーマ!?**
教科書では教えてくれないアートシーンに光をあてる。
- 2 **ピカソが青の時代へと向かうターニングポイント**
日本で初めて紹介。
- 3 **スペインのマドンナ、**
ラモン・カザス作《マドレーヌ》に注目。



© 2026 - Succession Pablo Picasso - BCF (JAPAN)

前期展示



1. パブロ・ピカソ《酒場の二人の女》1902年 油彩、カンヴァス ひろしま美術館 2. テオフィル・アレクサンドル・スタナン《シャ・ノワール》1896年 リトグラフ 京都工芸繊維大学美術工芸資料館 (AN.4829) 3. エドワード・ムンク《赤い服の踊り子》1897年 銅版印刷、カルトン ひろしま美術館 4. フィンセント・ファン・ゴッホ《モンマルトルの風車》1886年 油彩、カンヴァス 石川県立美術館 5. アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック《ムーラン・ルージュ、ラ・グリュ》1891年 リトグラフ 三菱一号館美術館 6. ラモン・カザス《マドレーヌ》1892年 油彩、カンヴァス ムンサラット美術館 Museu de Montserrat. Donated by J. Sala Ardiz.

“カフェ”に集う芸術家 Artists at the Café: From the Impressionists. Van Gogh and Toulouse-Lautrec to Picasso

会期 2026.6.13(土) - 2026.9.23(水・祝) ※8/4(火)以降一部作品を展示替えます。
開館時間 10:00 - 18:00 但し、金曜日、第2水曜日、7/25(土)、9/19(土)~9/23(水・祝)は20時まで開館。
入館は閉館時間の30分前まで

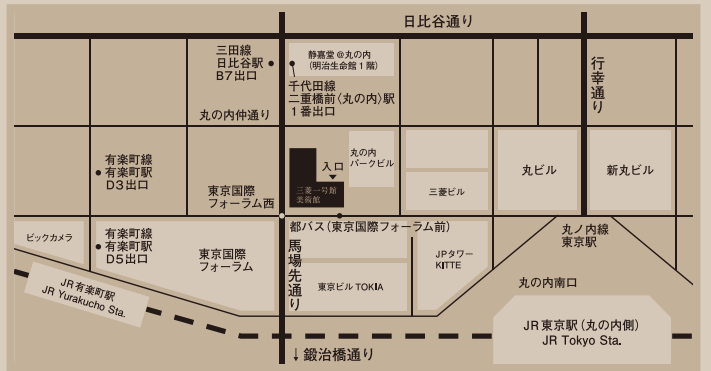
・夜間開館時間(18~20時) 限定特別企画を予定 ・スペシャルトークフリーデー: 7/25(土) 15~20時(予定)

休館日 祝日を除く月曜日 但し、トークフリーデー(6/29、7/27、8/31)は開館
観覧料 一般: 2,300円 大学生: 1,300円
高校生: 1,000円 中学生以下: 無料
※価格はすべて税込 ※障害者手帳をお持ちの方は半額、付添の方1名まで無料。他の割引との併用不可

オンライン販売 前売券 一般: 2,100円 大学生: 1,000円
美食家ロートレックのレシピ付きチケット 数量限定販売予定
チケット窓口販売 毎月第2水曜日「マジックアワーチケット」1,600円
※当日の17時以降に販売 ※他の割引との併用不可

*併せて、同時期に開催される小企画展「モノとロンド(仮称)」もご覧いただけます。展覧会サイトでお知らせします。
詳細は<https://mimt.jp/small-gallery>をご覧ください。*各前売券発売日は、展覧会サイトでお知らせします。

あなただけの“赤”が、展覧会を華やかに彩ります #カラーコード割「Rouge Classique」
赤いお洋服のお客様は観覧料が100円引きとなります。チケット窓口で「カラーコード割」をお願いいたします。とお声がけください。
※チケット窓口でのご購入の場合のみ適用。自己申告制です。※ご購入済みのチケットを後から割引引くことはできませんのであらかじめご了承ください。※他の割引との併用不可。



ACCESS
 ・JR「東京」駅(丸の内南口)徒歩5分・JR「有楽町」駅(国際フォーラム口)徒歩6分
 ・東京メトロ千代田線「二重橋前(丸の内)」駅(1番出口)徒歩3分
 ・東京メトロ有楽町線「有楽町」駅(D3/D5出口)徒歩6分
 ・都営三田線「日比谷」駅(B7出口)徒歩3分
 ・東京メトロ丸の内線「東京」駅(地下道直結)徒歩6分
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-6-2
 お問い合わせ: 050-5541-8600(ハローダイヤル)

